

事務事業名	農業集落排水施設管理事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	整備維持グループ	課長名 足立 純一
	施策名	〈15〉下水道の整備		担当者名	安部 和吉	電話番号:0854-42-3471 (内線) 4612
	目的・対象	対象 市民	意図 衛生的な生活環境の中で暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業	農業集落排水施設管理事業
	基本事業	〈043〉下水道施設の維持管理			項目 中事業 中事業	01~05農集施設管理事業
目的・対象	対象 下水道接続済の市民	意図 下水道に排水できるように維持管理する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 農集処理施設 ② 農集利用者 ③ 汚水排水	① 適正に維持管理する ② 生活環境を改善する ③ 汚水を浄化する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	・維持管理業務委託 ・処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料等の支払い ・処理施設の故障対応及び修繕等
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・施設等の維持管理 農業集落排水処理施設 20箇所 (加茂町 5箇所、木次町 4箇所、三刀屋町 6箇所、吉田町 1箇所、掛合町 4箇所) 中継ポンプ 156箇所	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・機能強化対策計画に基づいた施設の改築・更新工事を実施し、ライフサイクルコスト縮減に努めてきた。 ・平成30年に策定した汚水処理施設整備構想に基づき、下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合を図っている。 ・将来にわたって持続可能な下水道事業運営のため、適正な使用料を設定した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 汚水BOD除去率	%	87.2	95.6	89.7	90.8
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
加茂町地区	47,519千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
木次町地区	26,575千円		県支出金	千円				
三刀屋町地区	47,632千円		地方債	千円				
吉田町地区	7,006千円		その他	千円	155,220	166,353	156,903	163,908
掛合町地区	28,171千円		一般財源	千円				
計	156,903千円		事業費計	千円	155,220	166,353	156,903	163,908

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・汚水処理が適切に行われ、水環境を守っている。
② 事業実施するうえでの課題	・適切な維持管理により、処理施設の運転に支障をきたさなかった。 ・経年劣化により、修繕が必要な箇所は多くなる傾向にある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・適正な維持管理や予防保全に努め、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図らなければならない。 ・農集施設の負担軽減のため、使用についての注意事項を幅広く使用者へ周知する必要がある。 ・汚水処理施設整備構想に基づき、公共下水道との統合を図ることで市全体の汚水処理の維持管理費の軽減を図る。 ・令和6年度までに地方公営企業法の適用を行う。